

民主党 葛飾

区民本位のサービス向上と
区政情報の積極アピールを

全体として、堅実な予算の組み立て
となっており評価したい。

総務費 本年も高砂の鉄道連続立体事
業に備えるべく、まちづくり基金とし
て30億円を充てたことを高く評価する。
区政情報を発信する貴重な媒体である
FMかつしかに対して、番組提供2千
800万円の支出をするのであるが、より
一層の聴取者を獲得するため、販促物
を作るなどの工夫をして頂きたい。

産業経済費 雇用就業マッチング事業
において、区内失業者に対し就業機会
を与えることは当然として、区内産業
振興のためにも、区外に対しても本区
へ労働力を呼び込み、定住できる仕組み
づくりを検討し、事業拡大をお願いし
たい。また、区内伝統産業保護育成事
業として職人弟子入り支援事業を新設
全国に発信をしていくことについて、
新しい取り組みとして、成果を期待す
るものである。

福祉費 高次脳機能障害者支援事業と
してリハビリのための予算が組まれた
ことを高く評価する。高次脳機能障害
者が地域で安心して暮らしていくため
には、住民や関係機関の職員などの障
害を支える周囲の理解が必要となるた
め、この障害の理解を深めるための講
習会の拡充、職員に向けた研修会を開
催していくことを要望する。発達が遅
れている子ども達に関しては子ども発
達センターの充実を図るとともに心理
療法士等の専門家の訪問事業を拡充す
ることを要望する。また、待機児解消
のため今後も努力することを望む。企
業内通所授産施設事業は中間就労施設
として非常に効果が高い。今後も障
害者就労支援事業として継続していくこ
とを強く要望する。

衛生費 飼い主のいない猫の里親探し
事業を評価する。今後は飼い主の意識
を高め「捨てさせない」ことも大切。
そのために、任意の登録制度やマイク

ロチップの導入に取り組むことを要望
する。

環境費 環境推進に対する積極的な区
の姿勢が見えるよう、環境に取り組ん
でいるというメッセージを区民にわか
りやすく打ち出すことを期待する。緑
のカーテン普及事業経費は区民が取り
組みやすくするよう今後ネット等に対
する助成等の仕組みを構築し、マンシ
ョンのペランダ緑化など新しい形式の
助成を要望する。生垣化推進経費、自
然エネルギー利用促進経費等は昨年ベ
ースの目標設定ではなく、積極的に目
標値を定め緑化推進するよう要望する。

都市整備費 街づくりに対する積極的
な姿勢が見られ高く評価する。都市計
画マスタープランの見直しは区民、専
門家を含めて活発な議論を行い、協働
して街づくりを推進するよう要望する。
建築確認については民間検査機関の確
認状況を捉えながら建築確認の迅速化
を改めて要望する。高砂の街づくりは
連続立体交差事業が都営団地建て替え
を契機に推進されることを期待する。

教育費 これまでわが会派が主張して
きた教育委員会会議録を作成し、ホー
ムページ上で公開するための新規の予
算計上や、特色ある学校づくり推進経
費の増額は高いに評価できる。しかし
ながら教育委員の安易な増員について
はわが会派もやむを得ぬ事情から賛成
はしたものの、これまでの行革の流れ
からすると疑問が残る。時期を見計ら
って5人に戻すべきだと考える。中学
校の職場体験について、区内企業中心
は当然のことであるが、区内に拘らず
多くの企業に受け入れてもらう努力を
すべきである。また、博物館について
は券売機の借上料の負担を考えると人
材を雇用して対応した方が良いと思う。
また博物館併設の駐車場については利
用者以外も使用しているという声があ
るので適切な措置を講ずることを望む。
図書館については利用者の利便性を図
る上でも来年秋に開館する中央図書館
の年末年始の休館日を極力へらすこと
を強く要望する。

各特別会計 事業の着実な執行を望む。

葛飾区民連合

主要政策は将来像とアウト
カムを前提に執行せよ

葛飾の未来に係る重点施策が山積す
る20年度は、区民の血税を適正に執行
する体制とするために将来像とアウト
カムが不可欠となる。

総務費 区庁舎整備基金のスター
トは評価するが区民の生活や情報、危
機管理システムに係る心臓部である庁
舎建替えに関し、早急なビジョンと計
画を示されたい。また、起債を借金や
負のイメージとして示さず、区民生活
と行政の安定化の方法論、指標として
捉えるべき。更に庁舎の一部や、記念
館、公共施設の整備計画に際し、区民
の参加意識とインセンティブを高める
アウトカムを掲げ、住民参加型公募債
を提案する。

福祉費 第3子以降保育料無料を、
3子同時在園に限るとの行政視点は見
直し、親の視点から、第3子以降と
して拡大すべき。障害者就労支援事業
では特例子会社就労事業の設立が雇用
拡大と社会貢献をもたらすと期待する。
衛生費 新型インフルエンザ行動
計画とパンデミック対策の推進を望む。
AEDの中学校全校設置は評価する。

都市整備費 新小岩駅南北自由通
路整備計画の中で区民ニーズと南北の
街の活性化の実現を期待する。京成高
砂駅周辺のまちづくりでは、鉄道立体
化と共に一定のビジョンを示されたい。
教育費 わくチャレの防犯体制を
指摘する一方、発足当初のパワーが持
続せず地域格差が問われる中、学童ク
ラブ等を主体とした共存、運営委託を
図るべき。小中一貫教育では将来像や
道筋が示されておらずOEC Dや他国
の分析、先行区の状況も示さず、本区
独自の小中一貫教育を謳うには説得力
に欠ける。児童と教育現場を中心に時
間をかけて研究すべき。中学生職場体
験では需要と供給が保たれておらず、
子ども区議会、消防団や地域の体験ボ
ランティア等の活用も期待する。

無所属

マンネリ化した官僚的な
予算案に断固として反対

4月から後期高齢者医療制度が強制
的に実施され、満75歳以上のお年寄り
が保険料の値上げや医療費の負担増に
泣かされることになりました。

長い間にわたり戦中・戦後の日本を
支えてきた功労者に対してなんと
むごい仕打ちをするのでしょうか。
お年寄りを軽んじ、粗末にする国家・
民族が必ず衰退することは洋の東西
古今を問わず歴史の証明するところ
です。

また、一方では区民の合意を得ない
まま大学を誘致すると称して、450億円
の借金をして、元値一平方メートル17
万5千円の土地を45万円で買うという
綱渡りを演じつつあります。

健全な地方自治体の運営とは緊縮財
政のもと、福祉に重点を置き、明日を
見据えた教育に力を注ぎ、庶民が安心
して安全に暮らせる街づくりを進める
ことにあります。

首長の功名心を満たすために財政的
なアウトを行うことに反対します。
それよりも大勢のお年寄りや家族の
方々が待ち望んでいる特別養護老人ホ
ームの建設や、入所待ち待機児ゼロを
目指して保育園の増設をすべきである。

また、葛飾区が発注する土木建築工
事の請負業者を選定する方法が旧態依
然として、一般競争入札制度を行わず
談合の発生しやすい体制を続行してい
ることは問題である。夏休み中に施工
すべき学校の改修工事が入札妨害的な
行為によって施工不能が多発してい
ることは反省すべきである。

京成立石駅北口再開発事業について
は、地権者の意見が分裂しているが、
区は傍観者の態度をとっているため先
行き不透明である。立石のまち興しの
ため積極的に努力すべきである。
青戸三丁目の公有地不法占拠は30余
年を経ても未解決である。不法行為を
是正して歩行者の権利を守るべし。

無所属

高齢・障害者・子育て支援
医療・介護・教育の充実を

大学誘致は未決定のまま区民税の約
328億円より多い約450億円(原価4倍程
度の値段)で土地を買収し、仮に大学
が来ない場合は違約金約89億円を区民
が負担することに区長の責任は大きい
が負担することに区長の責任は大きい

国庫支出金、財調交付金等の補助はあ
るが、国、都の財政状況は全く不透明
である。妊婦健康診査、母子双方歯科
予防措置、学童保育・保育所の増設等
わくチャレも含めて評価する。学力・
体力向上・道徳・特別支援教育等の学
校教育の充実を図ること。がん検診の
拡大、予防接種、障害児歯科等は評価
する。三菱製紙跡地に特養老人ホーム
が建設中で170名が措置され21年6月に
完成するが、認知症対策も充分配慮す
ること。高齢者対策は介護・医療・保
険・年金等に重点的に取り組み、障害
者対策も乳幼児早期療育・就労訓練・
重度知的障害者・通所施設への助成、
精神障害者就労支援施設の整備等の充
実、高次脳機能障害者等への支援の拡
大や充実を図りたい。安全・安心対
策はAEDの設置、耐震化・橋梁の架
替え・防災無線・沿道不燃化・避難路
整備・防犯等は評価する。産業活性化
の新規予算で中小企業、商工業や観光
事業等の充実が図られたい。新小岩
周辺・金町南口開発に伴う中央図書館
の建設等及び南北道路開通工事・東金
町1丁目整備・立石地区・押上線立体
化・踏切対策及び高砂地区の開発は喫
緊の課題である。さらには四つ木・堀
切・東立石・青戸6・7丁目等計画等
も進め、地下鉄8・11号・メトロセブ
ン・新金線旅客化等は、調査研究から
脱皮し実行すべき認識が未だに消極的
であり税金の無駄使いを指摘する。区
役所を全面改築する基金が計上された
が、全く計画性に乏しく区民の考え方
に逆行する。その予算を廃止し、福祉・
教育・環境・医療・介護・子育て・人
権等の施策に充当すること。

予算審査特別委員会
委員長報告(要旨)

予算審査特別委員会は、2月20日の
本会議において、39名の議員の構成を
もって設置され、平成20年度各会計予
算について審査を行ったものです。当
委員会では、詳細な審査を行うため、
4分科会を設置しました。

第1分科会は19名の委員により、一
般会計予算のうち、議会費、総務費、
産業経済費及び職員費を、第2分科会
は20名の委員により、福祉費及び衛生
費を、第3分科会は19名の委員により、
環境費及び都市整備費を、第4分科会
は20名の委員により、教育費、公債費、
諸支出金、予備費ならびに各特別会計
予算を、それぞれ審査事項としました。

3月3日の当委員会では、総括質疑
を実施し、11名の委員から区政運営全
般について、多角的かつ大局的に質疑
が交わされました。

また、各分科会は3月4日から7日
までそれぞれ1日ずつ開催され、所管
事項の審査を行った結果、各分科会長
から審査が終了した旨の報告書が提出
されたので、当委員会は、3月11日、
各分科会長から審査経過及び各会派か
らの意見の報告を受けました。

続いて、一部の委員から提出された
平成20年度葛飾区一般会計予算の組み
替えを求める動議について、提出者代
表から提案説明を受け、採決を行った
結果、動議は賛成少数で否決されまし
た。

そのうえで、付託議案6件について
順次採決を行った結果、「平成20年度
葛飾区一般会計予算」、「平成20年度葛
飾区国民健康保険事業特別会計予算」、
「平成20年度葛飾区後期高齢者医療事
業特別会計予算」、「平成20年度葛飾区
駐車場事業特別会計予算」は、賛成多
数で原案のとおり可決すべきものと決
定しました。また、「平成20年度葛飾
区老人医療事業特別会計予算」、「平成
20年度葛飾区介護保険事業特別会計予
算」は、全会一致で原案のとおり可決
すべきものと決定しました。